

園だより

No.3

令和3年5月11日

大沢幼稚園園長 長友 六月

TEL (762) 4389 (代)

FAX (762) 4386

<http://www.ohsawa.ednet.jp/>

緊急連絡先 080-2344-7595

一昨年(2021年)の5月に元号が平成から令和に変わり、新しい時代が平和で良き時代になることを願ったのを思い出します。昨年来のコロナ禍の中、現実はなかなか厳しい日々が続いています。それでも、春はやっぱりいいですね。春の陽は柔らかく、優しく、木々や草花にまるでジョウロで水をあげているようにそそがれています。そして、その光は人の心を明るくし、その温かさは人の心を温かくする。暗さと冷たさほど人の精神に厳禁なものはないと思います。そして、こんなことを言っている人がいます。

「生長は、みな日光の下にある。生長するものは、みな日光を求める。幼児は生長するものである。保育は幼児を生長させることである。保育者の理想は日光である。」(倉橋惣三)
春はやっぱりいい。春は成長がみてとれる。上手に伸ばしてあげたいものです。

<今月のうた> 今月の歌は「めだかのがっこう」です。作曲は大沢幼稚園の「園のうた」を作曲された中田喜直先生です。中田先生については、何かの機会にお話したいと思います。作詞 茶木滋(ちゃきしげる)について、詩のエピソードをご紹介します。茶木さんは横須賀市汐入の出身です。三笠公園(戦艦三笠が展示してあります)に行ったところ、公園入口の脇に碑を見つけました。それによると、昭和25年、NHKからの依頼を受けた茶木さんは昭和21年の春の出来事を思い出しました。その頃、茶木さんは小田原市に疎開していましたが、息子(当時6歳)を連れて郊外の荻窪に買い出しに行かれました。荻窪用水のほとりを歩いていると、息子さんが用水にメダカの群れを見つけ、茶木さんが用水に身を乗り出すと、メダカは素早く隠れてしまいました。すると息子は「ここはめだかの学校だもん、待っていればまた来るよ。」とつぶやいたそうです。そっと覗くと、メダカたちが元気で泳ぐ姿を見ることができたそうです。

この経験から詩が生まれたということです。

私もこの場所を訪れてみました。今でもメダカがおよいでいて、近くの子どもが覗き込んでいました。

作詞 茶木 滋

めだかのがっこう

作曲 中田 喜直

- 1、めだかのがっこうは かわのなか
そっとのぞいてみてごらん そっとのぞいてみてごらん みんなでおゆうぎ しているよ
- 2、めだかのがっこうの めだかたち だれがせいとかせんせいか だれがせいとかせんせいか みんなでげんきに あそんでる
- 3、めだかのがっこうは うれしそう みずにながれてつーいつい みずにながれてつーいつい みんながそろって つーいつい

お知らせ○高校生以上の社会体験の一環の場として、園を活用して欲しいと思っています。園児の兄姉や従兄弟でも幼稚園の先生を目指している生徒さん。園児にとっては、異年齢との関わりが大変大事です。夏季保育や学校の休みの日に待っています。お知らせください。
○5月10日付で、学園本部から長友裕美先生が着任しました。(私の家内です) 全体フリーとして、園児・保護者の皆様と関わります。そして、この先もこの園が持続可能な社会(園)であるための方策を受け持ちます。

土曜日の広場開放について(第2・第4) 最近、安心して自転車の練習やボール遊びができる場所が少なくなってきました。地域開放と子育て応援の一環として「草原の広場」を開放していきます。基本は第2・第4土曜日ですが、日程調整等で変更になることがあります。また、感染状況により中止になる場合があります。**開放時間** 午前10時から午後2時 園の自転車も使用することができますが、怪我は自己責任です。マイ自転車の持ち込みもOKです。**4輪バギーの使用について**、黄色のバギーは小さい子向け(2歳・3歳)それ以外は幼児のみです。小学生以上が使用すると、故障の原因になります。